

上野別荘
田

表

人員異動

茶	六〇	陸軍	二五
米	三〇	陸軍	二〇
油	二〇	陸軍	一〇
糖	一〇	陸軍	五
...

八第三監視哨ニ於テ海岸ノ状況无ク如シ

九本日英員二二六名入港五名入港一名、機共休二名

三月十日
中大東島
勤務

情報

一、戦斗教練 (小隊内攻)
 二、被雷地整理、復旧、陣地補強作業實施
 三、在本任長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
 第一小隊 出口伍長以下九名 第一監視哨於テ
 第二小隊 富永伍長以下九名 第二監視哨於テ
 第三小隊 井上軍曹以下一一名 第三監視哨ニ於テ
 其々監視勤務ニ服ス
 三、沖地区隊情報第七〇號
 一、四〇〇〇三九一機一八〇度ヲ侵入沖台三〇〇〇ヤリ
 三、六〇度ニ飛去ス 高度一〇〇〇
 四、海軍ハ雲高四〇〇〇 視界七
 四、平備隊情報第三三八號
 軍通報、敵ノ機動部隊ノ其ノ後、南行不明ナリ
 九、龍崎情報ヲ綜合スルニ、コリアナ島又ハ、ハルシノ方面

ニ奇島に上ルニアラスヤト推定セラル

一、硫黄島方面、第五艦隊長官ハ後退シ五日「ミッドウェイ」ニハ「ワシントン」ニ會戰スト博ハラレ同長官又之ニ参加スルト推定セラル

二、硫黄島方面、艦船ハ六日以降半減其後逐次減少シ六日ニ至

三、各長官作戰會議ノ後二十日一ヶ月後ニ新行動開始セラル、ヲ例トス

四、二月二十七日頃ヨリ本島岸マシエル諸島方面ノ艦船ノ移動ヲ淡ク極メルト共ニマリナナ郡島方面兵力ノ集結ヲ開始ス

五、六日及七日「メロ」ニ著セヨリノ電信ハ硫黄島作戰前

一週間状況ヲ察スルニ

以上ニ依リ前後ノ戰局準備ノ完成ヲ期セラレ度

五、宇備隊情報第三〇九號

通達連絡
事項

本十日六時十五分敵共約一五〇〇戦車ハ朝霧砲射撃ヲ被獲下シシド、島西南端「サンボ」ガ附近ニ上陸セリ

六、支隊情報第三三三號

一、戦艦軍管及故跡上ヨリ以テ、遺骨無事到着セリ

二、留守名簿及履歴書類異狀ナリ受領ス

三、軍隊手帳ハ同下車ニ請求ヤミテ準備了シ次第送附ス

四、上中功績名簿コト紙ノ様式差支ナレ

五、殊數ノ上中ハ本部ノ於テ作製ス

六、尚様式ハ後便紙ニテ送付ス

七、沖地区隊情報ハ五號(本支隊上ヨリ輸入種別同長官ト同シ)

八、第三監視哨ニ於ケル海岸ノ状況ハ、如シ

風速五米一三米 波浪六米 視界一〇新

九、本日總員ニ三六名 入虎五名 入堂一名 練兵休一名

人員異動

素案

人員異動	一、本日總員二二六名入庫五名入庫一名 練兵休四名
三月十日	一、晴 二、本日電曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小隊川崎軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ 第二小隊内川軍曹以下九名 第二監視哨ニ於テ 第三小隊田川伍長以下二名 第三監視哨ニ於テ 夫々監視勤務ニ服ス
情報	三、三〇〇Bニ九一機一八〇度ヲ侵入本島沖合四〇〇〇、旋回後 一八〇度ニ脱去ス 高度四〇〇〇 雲量三雲高四〇〇〇 視界九 四、本二四時。九分B二四一機三三〇度ヲ高度四〇〇〇ヲ以テ侵入 一八〇度ニ脱去ス
日命	五、地区隊命令 一、士官 陸軍少尉 立石英一

通信連絡	下士官見習陸軍兵長 長谷川次男 各頭曹ノ通り来週々番勤務ニ服スハレ
氣象	六、地区隊情報第八六號 一、陸軍上等兵 寺本正義 右直路船元早五時ニ於テ此の地帯に雲送付ヲ行フ 七、第二監視哨ニ於ケル海岸ノ状況尤、如シ 八、本日總員二二六名入庫五名入庫三名 練兵休三名
人員異動	一、晴 二、本日電曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小隊中村軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ 第二小隊西澤伍長以下九名 第二監視哨ニ於テ
三月十日	三、晴 四、本日電曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小隊中村軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ 第二小隊西澤伍長以下九名 第二監視哨ニ於テ
大東島	五、晴 六、本日電曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小隊中村軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ 第二小隊西澤伍長以下九名 第二監視哨ニ於テ
勤務	七、晴 八、本日電曹以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス 第一小隊中村軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ 第二小隊西澤伍長以下九名 第二監視哨ニ於テ

情報	日命	通信連絡
第三小隊松本伍長以下二名第三監視哨ニ於テ 夫々監視勤務ニ服ス		
四守備隊情報第三二二號		
海軍情報ニ依リハ「ウレシ」方面ニ集結シタル敵機動部隊ハ 本十五日十六時出港北上、算アリ十七日午後以降待ニ 警戒ヲ要ス		
五沖地区隊命令		
一 陸軍兵長 酒井 定家		
兵器整備員當分ノ間敵工場ニ於テ勤務スベシ		
六早備隊情報第二七四號		
左記軍ヲ電報アリタルヲ以テ兩検査ノ上、地下格納ノ結果 ヲ明十二時迄ニ報告スベシ		
大平洋方面ニ於テ敵機ニ依リ地上集積ハ「ドラム」機ト推テ		

氣象	人員異動	三月十六日 要務 勤務
總テ潰滅セラレ樹蔭濃装ト雖モ何等ノ効果ヲ結動列着 シアルヲ以テ遂カニ全面的ニ地下ニ收容シ地上ニ偽集積ヲ 行ニ敵ノ砲爆撃ヲ吸收スルニ努ムベシ	八本日總員ニ二六名、入院五名、入室三名、練兵休三名	
七、第三監視哨ニ於ケル海岸ノ状況ヲ如シ 風速一四米、波浪六米、視界一五軒		
一、砲一〇七〇〇 戦斗教練 (小隊内攻)		
二、砲二七〇〇 被害地整理復旧障地補強作業實施		
三、杉本兵長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス		
第一小隊富永軍曹以下第一監視哨ニ於テ		
第二小隊増山軍曹以下第二監視哨ニ於テ		
第三小隊松本伍長以下第三監視哨ニ於テ		
夫々監視勤務ニ服ス		

情報

四沖地区隊情報第七五號

本一、時三十分日三機高度二〇〇〇ヤ以テ〇度ヨリ侵入

目下旋回中

五沖地区隊情報第七六號

一〇三四B三四二機三三度ヨリ侵入本島沖合二〇〇〇ヤ二回

旋回轉着ナル偵察ノ後九〇度ニ脱去ス

雲量一〇 雲高三〇〇 視界六

六沖地区隊情報第七七號

一四一五 五〇度ノ方向ニ爆音ヲ聞ク

七守備隊情報第三三三三號

大東守備隊第三三三三號ニ関連シ最近中部太平洋マリアナ群島

方面對シ敵ノ艦船ヲ移動活潑化シ同方面ヲ中ハトスル次期

作戰準備顯著ニシテ硫黄島作戰ニ引續キ新ニ積極的

作戰ニ出スルノ算大ナリ

通信連絡
事項

八、支隊情報第三四號

其ノ時機指向未ダ断定シ難キモ通信連絡ノ綜合判斷ニ依リ
父島ノ母島或ハ大東島ニ對シ三月下旬乃至四月上旬頃ニテ
今後ノ推移ニ関シ嚴戒ヲ要ス

貴電第八六號返

寺本上等兵ノ功績ナレ 依ッテ整理セラレタレ

九、沖地区隊情報第八七號

貴電第二二四號ノ件徹底的ニ完了ノ旨確信ヲ以テ報告ス

偽集積ハ西海岸部落地帯ニ實施シ有リ

一〇、沖地区隊情報第八八號

爾今空襲等被害狀况速報ニ関シハ情報第六號ニ依リ

地区隊長ヨリ守備隊隊長ニ速報セルモノニ付受報被下度連絡ス

右不可ナル場合ハ一報ヲセフ

二、第一監視哨ニ於ケル海岸ノ状況ハ如シ

氣象

海軍

航空

人員異動	風速二四米 波浪六米 視界八升
三月十六日	二、本日總員二二六名、入院五名、入室三名、練兵休四名
被害	一、〇六、三〇故刺上兵長墓標建立全員墓參
沖天島	二、〇六、三〇被害地整理復旧作業實施
勤務	三、〇六、三〇月例身體檢查實施
二、西澤伍長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス	
第一小隊出口伍長以下九名第一監視哨ニ於テ	
第二小隊富永伍長以下九名第二監視哨ニ於テ	
第三小隊角田伍長以下一二名第三監視哨ニ於テ	
夫々監視勤務ニ服ス	
情報	三、沖地区隊情電第七九號
	一、四五、B、二九一機三〇〇度ヨリ侵入、高度四〇〇〇ヨリ二四
	旋回、傾斜、後三六〇度ニ脱去ス

人員異動	雲量八 雲高四〇〇。 視界七
三月十八日	四、沖地区隊情電第七八號
被害	本一〇時四五分B二九一機高度四〇〇〇ヨリ三〇〇度ヨリ侵入
沖天島	目下旋回中
勤務	五、赤航空情電第五〇五號 (本文省略)
	六、第二監視哨ニ於ケル海岸、状況尤、如シ
	風速 五米、四米、波浪三米、視界八升
	七、本日總員二二六名、入院五名、入室三名、練兵休四名
	一、〇六、三〇被害地整理復旧陣地施設作業實施
	二、田川伍長以下七名地区隊衛兵勤務ニ服ス
	第一小隊出口伍長以下九名第一監視哨ニ於テ
	第二小隊松尾軍曹以下九名第二監視哨ニ於テ
	第三小隊前田伍長以下一二名第三監視哨ニ於テ

参考
機田

参考
機田

千五百(實動七三〇)進出スベシ
 在支米空軍ハ戰爆計八五〇ミキ太平洋方面、米空軍、作戦
 ニハ應セントスルノ微アリ
 四諸情報ヲ綜合スルハ敵ハ三月下旬父島母島又ハ大東島ニ侵寇
 スルノ算大ニシテ敵機動部隊ハ其侵寇方面ヨリ順東東海
 又ハ九州所任ヲ攻撃スベク南西諸島ハ三月日前夜敵機ヲ要ス
 又直路南西諸島ハ上陸企圖スル時ハ先ツ機動部隊ヲ南西諸島九州
 南部上海方面、航空撃滅戦遂行(南朝鮮上海方面ハ在支米空軍、
 擔任スルトアルハレ)ヲ至當トスベク且六箇師團内外、兵力ヲ使用
 スルモノトセバ四月上旬以降ト判断セラル
 備考「情勢ノ緊迫化ハ具體的ニ加給種様ニ迄徹底期ヲ度
 先日大本營試開問、結果「七月八月敵ハ侵寇スベシト吞氣
 ナルモノアルヲ以テ戦局、推移ニ関シ適切ナル指導ヲ要ス

参考
機田

守備隊情電第三三二號
 一、敵機動部隊ハ三群ヲ認メラルモ現在逆判明セルモノナシ
 二、五時十分迄ニ發進攻撃機三七
 三、戰果 巡洋艦一、轟沈戰艦又ハ特設空母一撃沈空母一炎上
 四、八時三十分地矣? 雙星機一敵空母ニ突入
 五、十時南九州地區ニ米戰機延五〇機九時十分一十時十分迄ニ敵機攻撃セ
 守備隊情電第三三〇號
 一、敵機動部隊ハ三群ヲ認メラルモ現在逆判明セルモノナシ
 二、三時特設空母ニ基幹、空母一特設空母又ハ巡洋艦改造ニ基幹
 三、八時迄ニ南九州地區ニ米戰機延五〇機九時十分一十時十分迄ニ敵機攻撃セ
 四、球航情電第五〇六號同第五〇七號同第五〇八號同第五〇九號同第五一〇號
 (以上本文省略)
 五、沖地區隊作命第十六號
 三月十八日一〇〇〇
 沖大東島
 敵狀 敵機動部隊昨三〇〇南大東島基安三〇度五〇分三三四〇

情報

夫々監視勤務ニ服ス

四守備隊情電第三三三三號

一十八日十三時三分「藤枝」一七〇度一八〇行ニ敵ノ浮上潜水艦ヲ発見

我之ニ銃撃ヲ加フ

二十六時十五分「台」一八九度三四〇行ニ機動部隊アリAZ.

B.O.3大型C6不明一八進路三五〇度ニ五節

三我航空部隊ハ敵ノ機動部隊ヲ攻中

大ナル戦果ヲ擧テテ逐次判明セン

守備隊情電第三三三三號

一昨十八日九時十分中型D1小型D2小型輸送船一四

貨物船五 スリガ不海峽北上中ナリ

二同日十時迄ニ南九州米穀機延五〇〇機

三在九州南諸島各航空部隊ハ綜合作戦準備中ナリ

守備隊情電第三三三四號

日命

氣象

人員異動

三月二十日

晴

沖大東島

勤務

一〇時十分小隊飛行場ニ敵ノ艦載機来襲中

球航情電第五一五號 (本文省略)

五、沖地区隊命令

一、来ル三月二十日〇九〇〇リ別紙計画ニ依テ故洲上兵兵ノ射撃演習實施

六、第一監視哨ニ於テル海岸ノ状況凡ノ如シ

風速五米一四米 波浪四米 視界七行

七、本日總員ニ六名入院五名 入堂三名 練兵休三名 劇務休一名

一、自〇〇〇〇 被害地整理 復旧陣地補強作業實施

二、本田軍曹以下七名 地区隊衛兵勤務ニ服ス

第一小隊中村軍曹以下九名 第一監視哨ニ於テ

第二小隊西澤伍長以下九名 第二監視哨ニ於テ

第三小隊木山軍曹以下二名 第三監視哨ニ於テ

夫々勤務ニ服ス

情報

三守備隊情電第三三九號

軍通報 昨十九日三三四機B三機北尾本島偵察中

三月一日空襲前日、状況ニ類似レアルヲ以テ本二〇日敵機動部隊

未襲撃敵ヲ要ス敵機動部隊ハ昨一日、京都以西中國

四國北九州ヲ攻襲セリ

十八日、戦果A2B以下4重沈没

守備隊情電第三四〇號

軍通報

一機動部隊ノ状況本二方面未襲撃部隊ハ昨十九日正午三到

ルモ依然九州東南方海域ヲ遊オレアルモ如シ

其後ノ行動不明トモ其通信状況ハ十八日迄、作戦、發電

ノ受信)主トシテ高知神戸松山阪神飛行場船舶ヨ目

標トシアルモノ知シ

二中部方面ハ三月十九日以降マリナリナリ群島方面中心集團兵力

参考 (機)

参考 (機)

展開中ナルガ如キ状況ニ依リテ動行警戒ヲ要ス

守備隊情電第三四一號

一昨十九日七時三十分一八時、間三波ヲ以テ各吾一吉、兵在船舶

船ヲ攻撃ス

二捕虜ノ陳述ニ依リ

第五八機動部隊ニテ航母一五四群第一群「ホーネット」ベラガトン

ドワード 第四群「エンクフライ」エトレニッツ、ラングレイ、インペラス」

第二第三群不明ナリ

三攻襲企圖 航空交替 兵力及基地重滅ニ依リテ上陸企圖ヲ有

レアラズ

四攻襲企圖 目標不明ナリ

五行動 第一群二月一日本國發「ハワイ」ニテ月訓練「ウルシ」

南西諸島及開東空襲ニ参加ス

第四群二月十八日「サンフランシスコ」「ウルシ」直航

通信

各群共三月十四日「ウルシー」出島B8.C20.D20.25
 「アングル島」ニ當時在船T50(内15油船)右何と海兵隊
 及陸軍部隊ハ乗船セラス
 六十九日四時四五分「ホーネット」黒煙ニ包マレ大傾斜スルヲ認ム
 守備隊情電 第三四二號

「サンフランシスコ」戦訓

- 敵歩兵ハ十分引付ケル後攻東スルヲ要ス
- 椰子ニ本ヲ以テ積累ネル天蓋ハ戦車及輕動初彈ニ依リ飛散ス
- 敵ハ歩兵小隊ヲ攻東スルニ當リ手榴彈迫重砲ニ依リ猛射シ戦ニ倍ス 敵ハ側面ヨリ反東シ来ル
- 横坑式洞窟ハ母貝通スルヲ要ス
- 洞窟出入口ニ機銃掃射ヲ行フニ敵ハ口屈曲スルヲ要ス

以上ニ依リ地区隊陣地ハ戦訓、他々實施スルヲ要ス

通信

守備隊情電 第三四五號

二〇日九時五分敵機動部隊ノ位置
 宜戸岬基點一八〇度一二六分
 同二七度二四分 同二八〇度二二三分
 二〇時三十分石三群ハ南下ヲ開始ス 二〇節
 三石直航セバ明二日四時三十分南大東島線ニ到達ス
 球航情電第五六號同第五七號同第五八號(以上本文省略)
 四地区隊情電第九〇號

三月三日糧秣現在高報告

品目	單位	現在高	品目	單位	現在高
ニ	度	三五九〇	ネ	立	五〇〇
ホ	〃	三〇六	度		四三
ハ	〃	二五五〇	ラ	〃	四八五七
ト	〃	二〇〇〇	ム	〃	九八一

